

2012-B					
拠出金・基金の名称:		世界銀行市場メカニズム準備基金拠出金			
種 別		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国際復興開発銀行・国際開発協会 (IBRD・IDA)					
【所管官庁担当局課・室名】: 経済産業省地球環境対策室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 世界銀行が第16回気候変動枠組条約締約国会議(COP16)において、温室効果ガス排出削減を進めるための市場メカニズムの活用に関する準備基金の設立を発表した。我が国として、世界規模での温室効果ガス排出削減を実現すると同時に、我が国先進的低炭素技術の普及拡大も図るべく、二国間クレジット制度を始めとした市場メカニズムの積極的な有効利用を目指し、同基金への拠出を通じ、国際的な市場メカニズム制度構築の主導権を確保する。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (ユーロ)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成24年度	300,000	-	-	円建て	-
平成23年度	300,000	-	-	円建て	-
平成22年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 気候変動対策に関する世界的な枠組みである国際気候変動枠組条約の下、先進国の温室効果ガス排出削減義務を規定した京都議定書に代わる新たな国際枠組みについて、目下、国際交渉が行われているところ。他方で、各国とも国連交渉にこだわらない、新たな市場メカニズムの活用等を模索する動きが加速している。 こうした状況の中、COP16において設立が発表された本基金は、今後の市場メカニズムのルールを決定する上で重要な役割を果たす可能性が極めて高い。我が国として、世界規模での温室効果ガス排出削減を実現すると同時に、我が国の先進的低炭素技術の普及拡大も図るべく、二国間クレジット制度を始めとした市場メカニズムの積極的な有効利用を目指し、国際的な市場メカニズム制度構築の主導権を確保する必要がある。案件の採択が行われる執行委員会における発言権は、拠出に伴って付与されるため、基金への拠出が不可欠である。					